

料金審査専門会合における審議状況について

(趣旨)

第16～17回の料金審査専門会合におけるガスの託送料金審査の審議状況および主な論点等について報告する。

主なポイント

1. 審議状況

- 9月13日 第16回料金審査専門会合
需給調整費、需要調査・開拓費、バイオガス調達費等
- 9月29日 第17回料金審査専門会合
設備投資関連費用、修繕費、事業者間精算費・収益

2. 第16、17回での主な論点

(経営効率化)

- ・経営効率化計画の目標のあり方

(需要調査・開拓費)

- ・需要開拓活動の適正性

(設備投資関連費用)

- ・減価償却対象の審査対象の整理と過去の推移
- ・固定資産除却費の算定方法の詳細
- ・高経年設備の取り替え時期の考え方と経緯

(約款記載事項)

- ・ガスの実流方向のみとなっている託送供給
- ・契約期間中の契約変更（増量）時に発生する補償料

3. 今後の予定

第18回目以降については、これまでの審議を踏まえ、検討を深めるべき論点等についてご議論いただく。また、委員が三人一組になって、原価項目を分担し、契約書の原本等の生のデータに直接当たりながら、審査を進めていく。

10月12日 第18回料金審査専門会合

- ・需給調整費、需要開拓費、比較査定対象ネットワーク費用等
- ・検討を深めるべき論点について

～12月上旬（月2回程度の専門会合、委員を交えての個別審査にて審査。）

12月中旬 電力・ガス取引監視等委員会から経産大臣に査定方針を提出
（目途）